

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2019-49574 (P2019-49574A)  
【公開日】平成 31 年 3 月 28 日 (2019.3.28)  
【年通号数】公開・登録公報 2019-012  
【出願番号】特願 2018-247345 (P2018-247345)  
【国際特許分類】

G 0 1 F 1/684 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 F 1/684 B

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

主通路を流れる被計測気体を取り込む副通路と、前記副通路を流れる被計測気体との間で熱伝達を行うことにより前記被計測気体の流量を計測する流量検出部と、を備える熱式流量計であって、

前記副通路は、前記主通路を流れる被計測気体の主流れ方向に沿って延在する第 1 通路と、前記第 1 通路から分岐し前記被計測気体を前記流量検出部へと導く第 2 通路と、を有し、

前記第 2 通路の流路中心よりも主流れ方向上流側に排水孔を有していることを特徴とする熱式流量計。

【請求項 2】

前記排水孔の周囲は、円弧状の凹部であることを特徴とする請求項 1 に記載の熱式流量計。

【請求項 3】

前記第 2 通路は、前記被計測気体の最大流速点が流路中心から偏倚する通路形状の通路部を有しており、該通路部は、前記被計測気体の主流れ方向上流側から下流側に向かって移行するにしたがって前記第 1 通路から離れる方向にカーブする通路形状を有していることを特徴とする請求項 1 に記載の熱式流量計。

【請求項 4】

前記通路部は、前記主通路を流れる被計測気体の主流れ方向に沿って上流側から下流側に向かって移行するにしたがって前記主流れ方向に対する交差角度が漸次大きくなる方向にカーブする通路形状を有していることを特徴とする請求項 3 に記載の熱式流量計。

【請求項 5】

前記主通路の内部に配置されるハウジングと、該ハウジングに取り付けられるカバーとを有し、

前記排水孔は、前記カバーに穿設されて前記凹部と前記主通路との間を連通していることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の熱式流量計。

【請求項 6】

前記排水孔は、前記副通路の前記流量検出部よりも下流の位置に連通していることを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載の熱式流量計。